

第6期中期計画（2019年度－2021年度）

1. 「ぐらす・かわさき」の目的

NPO法人「ぐらす・かわさき」は定款第3条で活動の目的を以下のように掲げている。

- ・ 誰もが暮らしやすい地域社会をつくるために、地域の人々が日々の暮らしの中で気がついた問題を持ち寄り、語り合い、経験や情報を共有する場をつくる。
- ・ 市民が有用な情報を入手し、読み解く力をつけ、自らが問題解決の手法を獲得し、主体的に問題を解決していくことをめざし、その活動を応援する。

この目的を実現するために「今後3年間に何を重点的な活動にするのか」を明らかにしたものである。

2. 期間

第6期中期計画の実施期間は2019年4月～2022年3月の3年間とする。

3. 中期目標

(A) 誰もが「ここに住みたい」と思えるような、地域の居場所、地域の出会いの場、活動を活性化させる場をつくりあげる

子どもから、大人、高齢者など年齢を問わず、また、障がいのあるなしに関わらず、やりがいを持って活動できる居場所、また、地域や社会の課題について話し合い、共有できるような発信をしていく場として、メサ・グランデや遊友ひろばの運営を継続していく。

(B) 中間支援組織として、これまで培った成果をまとめ、今後の活動に活かす。

2021年6月に、設立から20周年を迎えるにあたり、これまでぐらす・かわさきが果たしてきた中間支援組織としての活動を振り返り、その成果をまとめる。また旧来の役員・スタッフが減少し、新しく加わった役員・スタッフが多くなってきた中、その振り返りを通して、これまででぐらす・かわさきとかかわりのあった団体とのネットワークの維持や、今後の連携・協働に備えて、顔の見える関係性を強化・再構築する。

(C) 子育てしやすい社会に向け、子どもをめぐる地域のつながりの促進に寄与する。

メサ・グランデや遊友ひろばの活動を通じて、地域の子育て中の人たちの集える場所をつくる。また、その場所を通じてのつながり作りを大切にし、子どもが生まれても住みたいと思える地域にする。

4. 事業計画

(1) メサ・グランデを「ここに住みたい」と思える場になるような形での運営をさらに広げる。

メサ・グランデのもつ駅近の商店街にあるという立地・空間や、地域活動支援センターとしての機能、また、都市農業と消費者とをつなぐ場としての機能を活かしながら、今後の事業の可能性について、他の団体とも連携しながら、地域の居場所としての在り方を検討・実施する。

(2) 遊友ひろばの運営について、将来像を具体的なものとする。

ひろばの継続の為の寄付を募ったところ、多くの方からご寄付をいただいたことから、遊友ひろばは地域で必要とされているということが明らかになった。区画整理の日程を考慮しつつ運営を行う。また、区画整理後についても検討を行い、各事業の方針を決定する。

(3) **ぐらす・かわさきがこれまでに応援してきた人や団体、あるいはぐらす・かわさきを応援してくれた人や団体を見える化し、今後の方向性を検討する。**

新旧の役員・スタッフ・会員が共に、これまでかかわりあった団体の経緯について調査を行い、ぐらす 20 周年の成果のまとめを行う。それをこれからのぐらすの発展にどうつなげるかを検討する。

(4) **子育てしやすい地域づくりのための拠点を維持する。**

子どもも安心して食べられる食事を提供し、子どもと一緒に安心して来られる場として、メサ・グラウンデを運営する。地域食堂めさみーる+などの運営も引き続き行い、子育てしやすい地域づくりを行う。また、遊友ひろばでは、寺子屋やスペースの貸し出しなどの事業を展開することで、子育てをしやすい地域づくりに寄与する。

(5) **その他の活動**

ぐらす・かわさきの目的に合致する事業を提案する。その上でぐらす・かわさきがやるべき事業については事業化をめざす。

※但し、中期目標・事業計画は事業の進捗状況如何で、途中変更の可能性はある。
上記中期計画を実施するための、人材の育成、実施体制を整える。